



(証券コード:3628)

株式会社 データホライゾン

2009年3月期 決算説明会

2009年5月21日
<http://www.dhorizon.co.jp>

2009年3月期 決算説明の内容

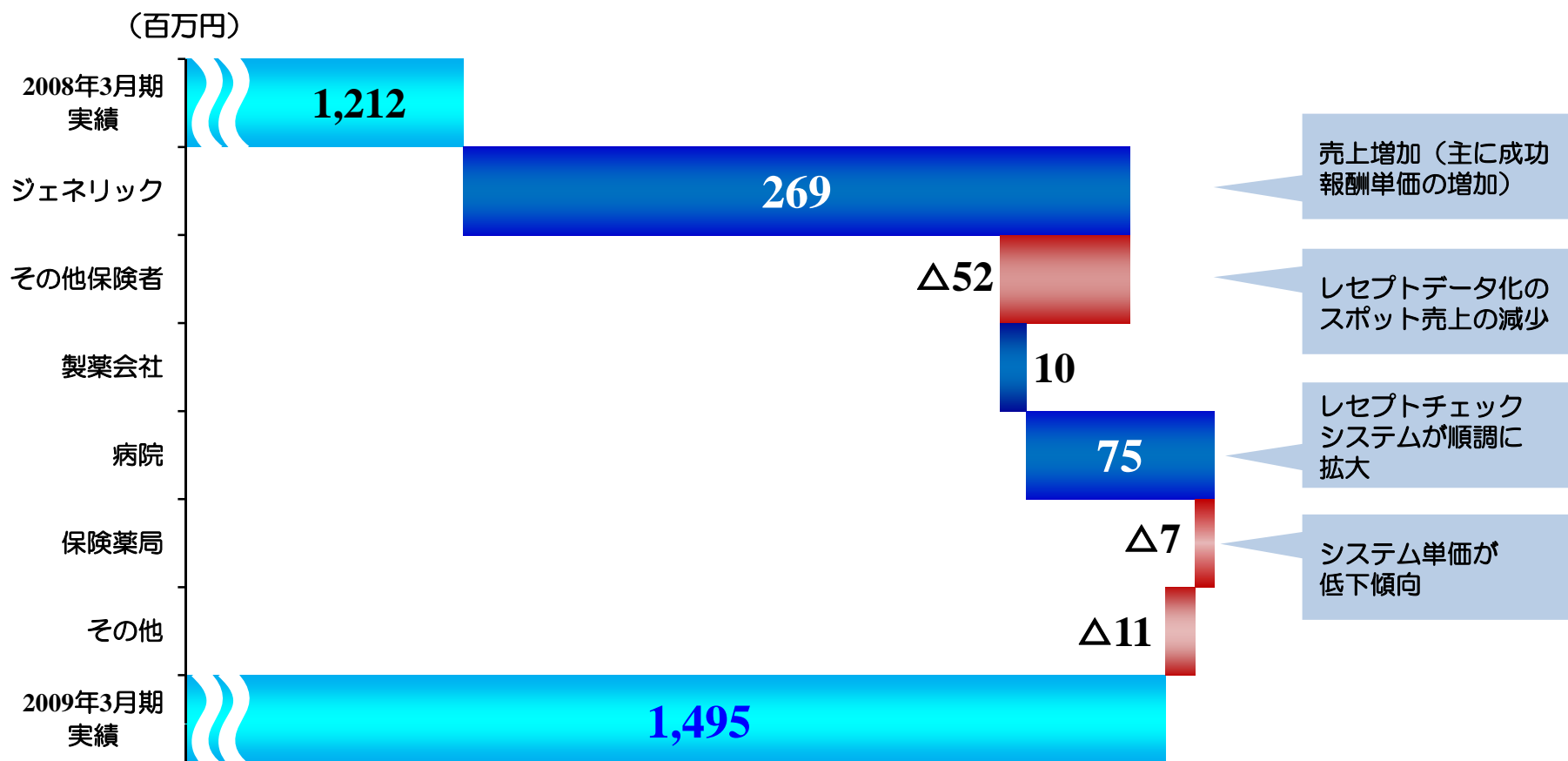
- ✓ 1. 2009年3月期 連結業績概要
2. 2010年3月期 連結業績予想
3. 2010年3月期 株主還元
4. 2010年3月期の事業展開について

2009年3月期 連結業績概要

	2008年3月期		2009年3月期		対前期比	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	1,212	100.0	1,495	100.0	+283	+23.4
医療関連情報サービス	630	52.0	857	57.3	+227	+36.0
医療関連情報システム	544	44.9	612	41.0	+68	+12.5
その他	36	3.0	25	1.7	△12	△32.1
営業利益	252	20.8	316	21.2	+64	+25.4
経常利益	250	20.6	301	20.2	+52	+20.7
税金等調整前当期純利益	244	20.2	301	20.2	+57	+23.2
当期純利益	241	19.9	177	11.9	△64	△26.4
1株当たり当期純利益(円)	153.34	-	105.74	-	△47.60	△31.0

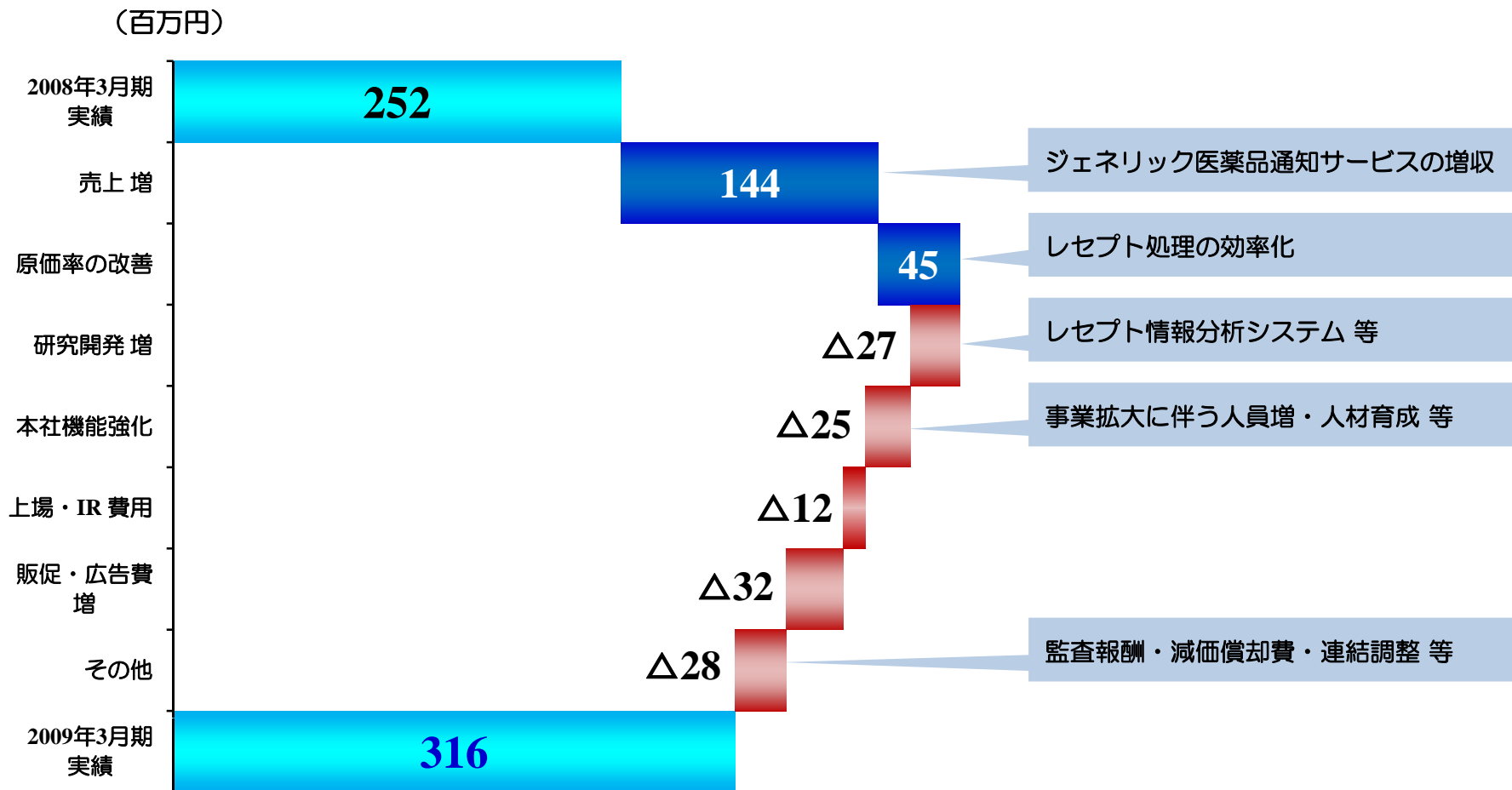
2009年3月期 連結売上要因分析(対前年比)

◆ ジェネリック医薬品通知サービス 順調に進捗
 加入者数：308万人（対前年同期比 74万人増）



2009年3月期 連結営業利益要因分析(対前年比)

➡ **営業利益は過去 最高** (対前期+64百万円 25%増)



2009年3月期 決算説明の内容

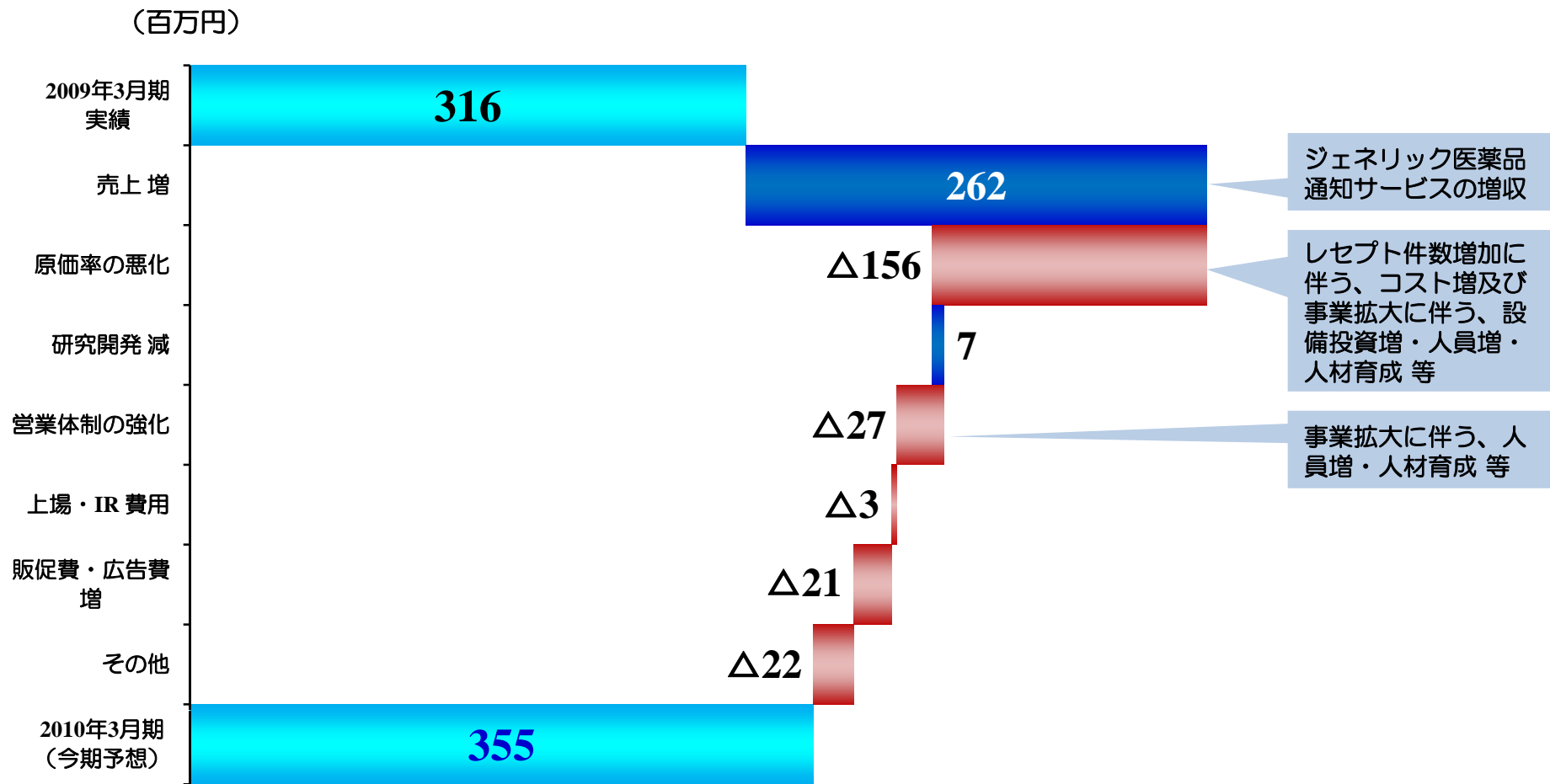
1. 2009年3月期 連結業績概要
- ✓ 2. 2010年3月期 連結業績予想
3. 2010年3月期 株主還元
4. 2010年3月期の事業展開について

2010年3月期 連結業績予想-通期計画

	2008年3月期 (実績)		2009年3月期 (実績)		2010年3月期 (予想)		対前期比	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	1,212	100.0	1,495	100.0	1,980	100.0	+485	+32.4
医療関連情報サービス	630	52.0	857	57.3	1,310	66.2	+452	+52.7
医療関連情報システム	544	44.9	612	41.0	650	32.8	+37	+6.1
その他	36	3.0	25	1.7	20	1.0	△5	△19.6
営業利益	252	20.8	316	21.2	355	17.9	+38	+12.1
経常利益	250	20.6	301	20.2	350	17.7	+48	+16.0
税金等調整前当期純利益	244	20.2	301	20.2	350	17.7	+48	+16.0
当期純利益	241	19.9	177	11.9	205	10.4	+27	+15.3
1株当たり当期純利益(円)	153.34	-	105.74	-	115.52	-	+9.78	+9.2

2010年3月期 連結営業利益要因分析(対前年比)

◆ 増益予想 (対前期+38百万円 12%増)



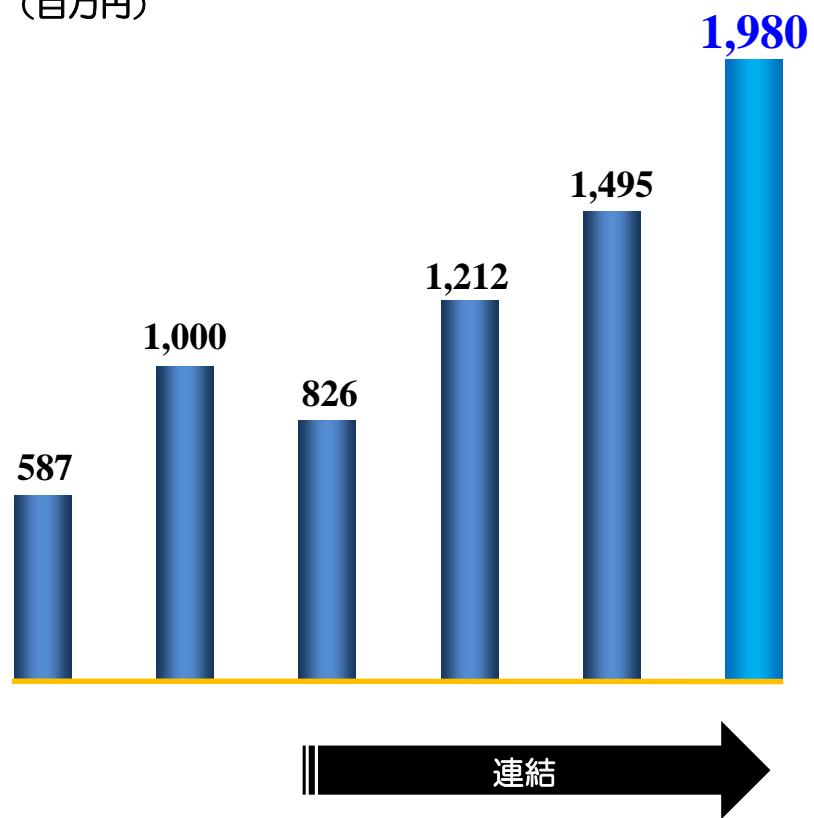
2010年3月期 連結業績予想 - 第2四半期累計計画

	2009年3月期 (実績)		2010年3月期 (予想)		対前期比	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	732	100.0	645	100.0	△87	△11.8
医療関連情報サービス	407	55.6	360	55.8	△47	△11.6
医療関連情報システム	309	42.3	277	43.0	△32	△10.4
その他	15	2.1	8	1.2	△7	△47.5
営業利益	144	19.8	6	1.0	△138	△95.4
経常利益	130	17.9	5	0.8	△126	△96.1
税金等調整前四半期純利益	130	17.9	5	0.8	△126	△96.1
四半期純利益	74	10.1	1	0.2	△73	△98.7
1株当たり四半期純利益(円)	46.71	-	0.56	-	△46.15	△98.8

売上高・経常利益・経常利益率の推移(通期)

売上高

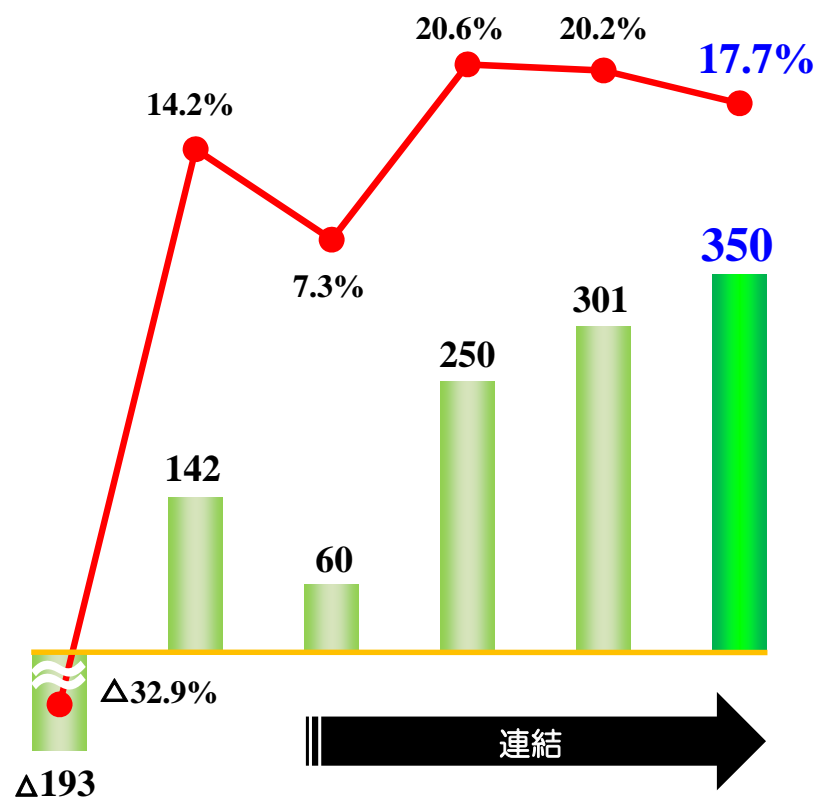
(百万円)



2005年 3月期 2006年 3月期 2007年 3月期 2008年 3月期 2009年 3月期 2010年 3月期 (今期予想)

経常利益・経常利益率

(百万円)



2005年 3月期 2006年 3月期 2007年 3月期 2008年 3月期 2009年 3月期 2010年 3月期 (今期予想)

2009年3月期 決算説明の内容

1. 2009年3月期 連結業績概要
2. 2010年3月期 連結業績予想
- ✓ 3. 2010年3月期 株主還元
4. 2010年3月期の事業展開について

2010年3月期 株主還元

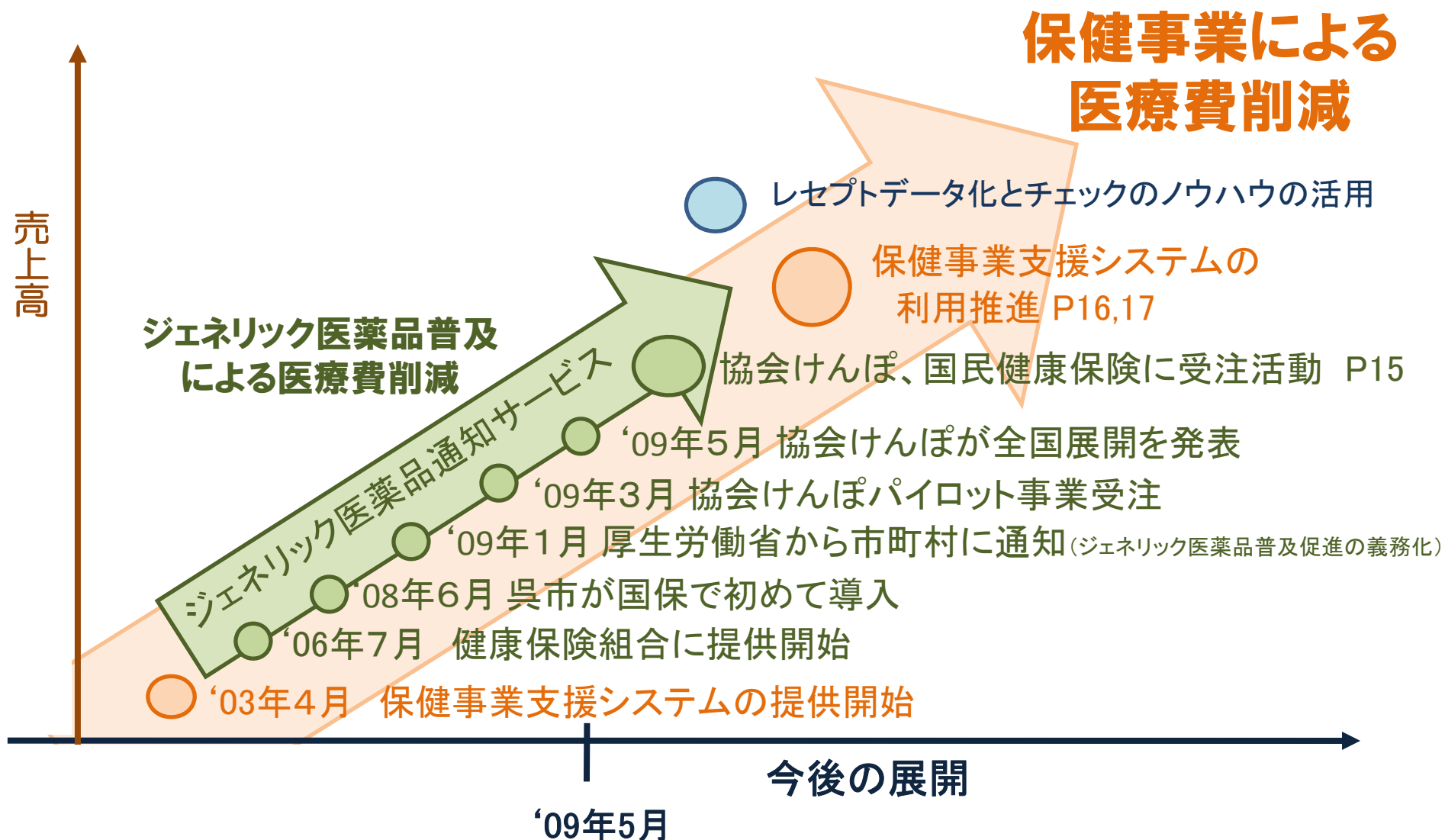
- **2010年3月期末より、配当開始**
- **配当金（年間）：1株につき 35円**
 - **配当金総額：62百万円**
 - **配当性向：30.3%**

〔 配当方針：連結配当性向30%を目途
〔 予想当期純利益：205百万円 〕 〕

2009年3月期 決算説明の内容

1. 2009年3月期 連結業績概要
2. 2010年3月期 連結業績予想
3. 2010年3月期 株主還元
- ✓ 4. 2010年3月期の事業展開について

医療情報サービスの事業展開



ジェネリック医薬品通知サービスの展開

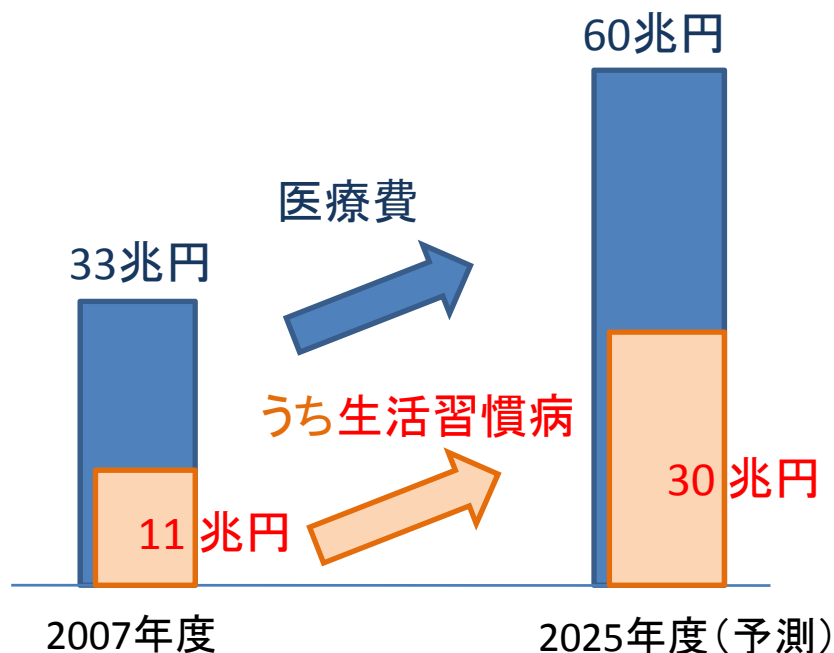
- 国民健康保険（1,818市町村、加入者約51百万人）
 - 厚生労働省は、「国民健康保険における後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及促進について」を通知するなど積極的。
 - 呉市の成果が、国保新聞に掲載されるなど注目されている。
 - 1割の市町村に2010年度の予算化をしていただくことを目指す。

- 協会けんぽ（加入者約36百万人）
 - 協会けんぽは、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担軽減額等の通知を全国的に順次実施することを公表。
 - 広島支部でのパイロット事業を成功させ、全国の支部からの受注を目指す。

- 健康保険組合（1,541組合 加入者約30百万人）
 - サービスの内容と価格を柔軟に設定して、シェアの拡大を目指す。

ジェネリック医薬品通知サービスから保健事業支援へ

■ 米国並みに増加が予想される日本の医療費



- ✓ 厚生労働省のジェネリック医薬品の普及目標(2012年30%)を達成しても、医療費は4千億円しか削減できない。
- ✓ 米国の一人当たり医療費は2007年度で日本の約2倍、人口の15%4500万人が医療保険に加入していない。
- ✓ 日本も生活習慣病が増加し、2025年に、一人当たり医療費は、米国並みになる恐れ。

■ 医療費を増加させないためには、保健事業を行い生活習慣病の増加を防ぐ。

■ ジェネリック医薬品の普及で削減される医療費で保健事業を！

当社は、ジェネリック医薬品通知サービスでデータ化したレセプト情報で保健事業支援システムを提供。

レセプトデータを活用した保健事業の支援

保健事業とは、健康教育、健康相談、健康診査その他の健康の保持推進のために保険者の行う事業で、当社はレセプトデータを使って**保健事業**を支援します。

1. 生活習慣病一次予防

特定健診データと**問診データ**により、個人毎の発症リスクの分析を行い、効果的な指導を支援します。

2. 生活習慣病二次予防

特定健診データと**レセプトデータ**を突合し、健診で異常があるにもかかわらず治療していない人の特定や、健診値と治療の関係などの確認ができます。

3. 生活習慣病三次予防

生活習慣病罹患者で一旦治療を開始したものの途中で中断している人の把握や、生活習慣病が悪化している人などの確認ができます。

※ 糖尿病患者の 9.6%、高脂血症患者の 10.3%、高血圧症患者の 5.6%が放置している疑い。

レセプトデータを活用した保健事業の支援-2

4. 重複受診

複数の医療機関に同一の傷病名で受診している人の確認ができます。

※ 7%に重複受診があり、慢性疾患だけでみると 4.4%が重複受診。

5. 薬害防止

別々の医療機関で同一成分の薬剤を重複して服用している人、相互作用の発生の恐れがある人を抽出できます。

※ 2.7%が重複服薬、6.4%に相互作用。(併用禁忌0.3%、併用回避6.1%)

※は当社調べ

将来見通しに関する注意事項

- 本説明会及び本説明資料には、データホライゾンの将来についての計画や戦略、業績見通し等の記述が含まれております。
- これら将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
- 実際の業績等は様々な要因により、当社の見通しとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。